

大島小 学校だより



島っ子だより

第7号 令和2年5月25日

文責 校長 藤瀬 安孝

梅雨入り前の充実の日々

昨年の天気の詳細を見てみますと、傘マークがついている日数は、5月が7日、6月が8日、7月が17日、となっていました。6月＝梅雨のイメージがありますが、蒸し暑さは増してくるものの、しばらくは勉強に運動に取り組みやすい時期ともいえそうです。来週からは6月に入り、プール開きへ向けての清掃も予定しています。

新型コロナウイルスの感染は、現在は落ち着いた状況がしばらく続いています。第二波の懸念も報道されています。再度の休業がないことを願いながら、できるだけ授業進度が進むように、各学年での指導をがんばっています。

子どもたちの安全のために ①

毎日、登校班でまとまって元気に歩いてきている子どもたち。

その通学路は、車の通る道の路側帯や木々や草に囲まれた区間も少なくありません。そんな子どもたちの登校を見守ったり、同行したりと、安全をサポートして下さるボランティアが何人もいらっしゃいます。特に朝の登校時は、学校職員の手が回らないため、登校中の支えはとてありがたいです。時には、子どもたちの様子で気になったことを教えていただくなど、安全面以外でも助かっています。

先日は、通学路になっている歩道の落ち葉や土を掃除して下さった地域の方がいらっしゃったそうです。少し前に風雨が強かった日があり、枝葉や土が道に散乱したのでしょうか。その様子をご覧になり、子どもたちのために作業をして下さったようです。ほんとうに、ありがたいと思います。大島の皆様の子もたちを大切に思ってください。改めて感謝します。



子どもたちの安全のために ② ～平戸警察署の方をお招きして～

臨時休業のため延期していた交通安全教室（例年4月に実施）を、先週の22日（金）に平戸警察署交通課の方にご協力いただき実施することができました。日ごろから学校でも指導していることをおさらいしたり、わかりやすい交通ルールのDVDを見たりしたあと、実際の歩行でもきちんとできているかを確認しながら下校しました。警察の方から直接聞く言葉は、私たち職員の話とは違った重みをもって、子どもたちに届いたことでしょう。

今回は、集団下校をしながらの正しい歩行の学習でしたが、日ごろ、一人で歩くときにも同様に注意を払いながら歩行できるかが大切です。

例えば、島外で道を歩くときなどに、保護者の方の前を歩かせてみて、自分の目と耳と頭を働かせて、自分の命を守ることができる「注意を払った道路歩行」ができているかを確認することも必要なかもしれません。（一定の判断ができる年齢以上に限りますが・・・）

事故に遭う多くは、保護者の手をはなれたときです。そこで生きた知識・習慣として、安全に行動できる力を育てていきたいと考えています。

